

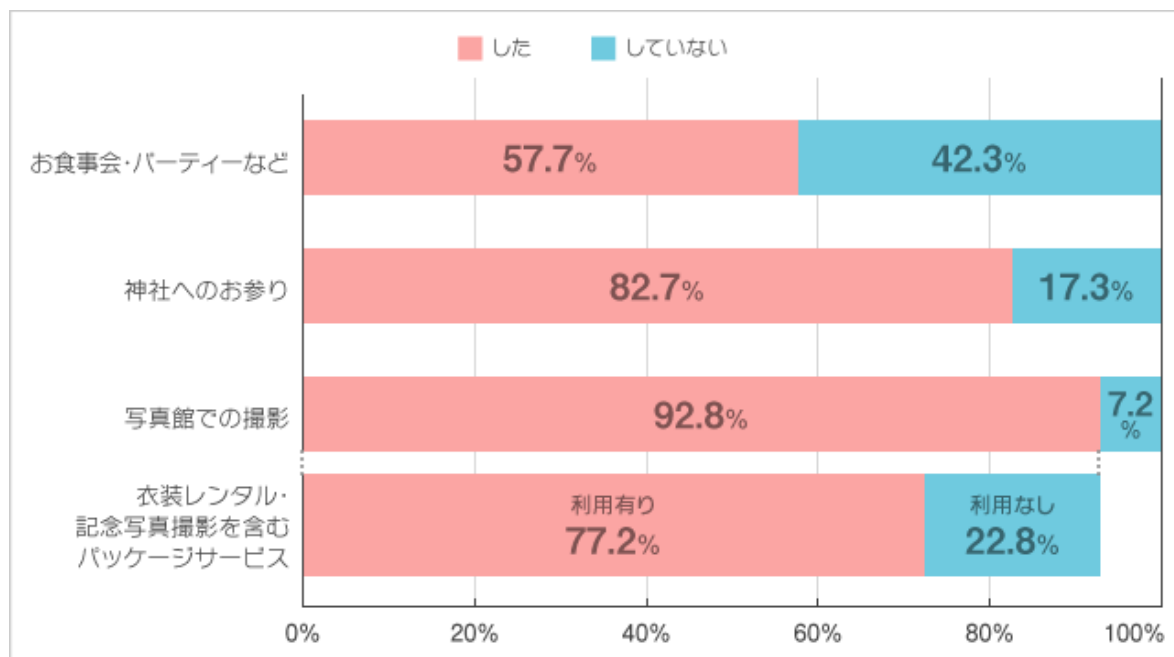
「価格.com」、七五三に関する実態調査を発表**今ドキの七五三は、「神社参拝」よりも「写真撮影」がメインイベントに！****お得な「前撮り」が定着、75%が5月～10月に撮影****衣装・撮影のセットサービス利用者は7割超、費用は3～5万円が最多****第二子以降で費用を抑える傾向は、祖父母からのご祝儀減が影響？**

株式会社カカクコムが運営する「価格.com 写真館・フォトスタジオ検索」では、「お母さんに聞いた七五三実態調査」を実施しました。

日本の伝統行事である「七五三」。秋になると晴れ着を着た可愛らしい子供達を多く見かけます。今回は、過去1年以内に七五三のお祝いをしたお母さん208名を対象にアンケートを実施し、行ったイベント、かかった費用、どんな衣装を着たか、七五三への感想など、今ドキの七五三事情を調査しました。

1. 七五三のイベントについて**9割以上が「写真撮影」を経験！神社参拝よりも、写真撮影がメインイベント化**

「写真館での撮影」をした人が9割を超え、「神社へのお参り」を上回る結果に。参拝のために正装するのが本来の七五三行事でしたが、昨今では記念撮影がメインイベントになってきているようです。また、全体の7割以上の方が、衣装レンタルが含まれるパッケージサービスを利用したと回答。フリーアンサーでは「写真館、衣装レンタルの予約を個別に取る必要がなく、準備が楽」「トータルの費用がわかりやすい」という意見が多く見られました。

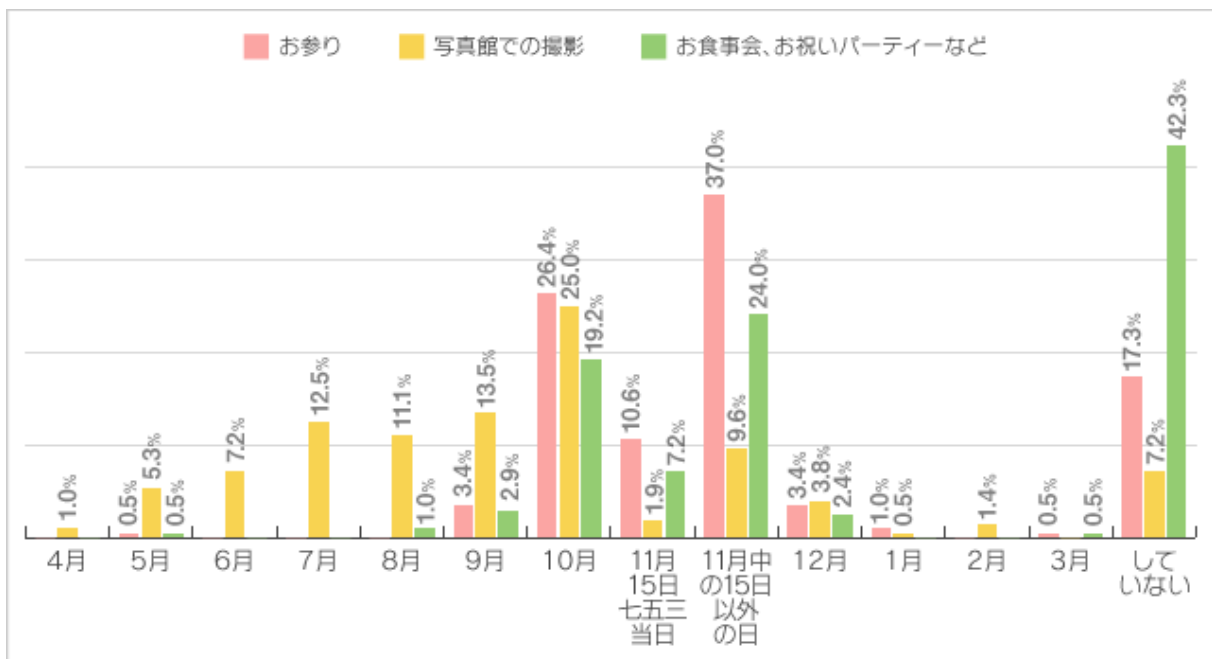
【図1. 七五三イベントの実施有無】

七五三イベントは10～11月に集中。写真撮影だけは75%以上が5～10月に実施

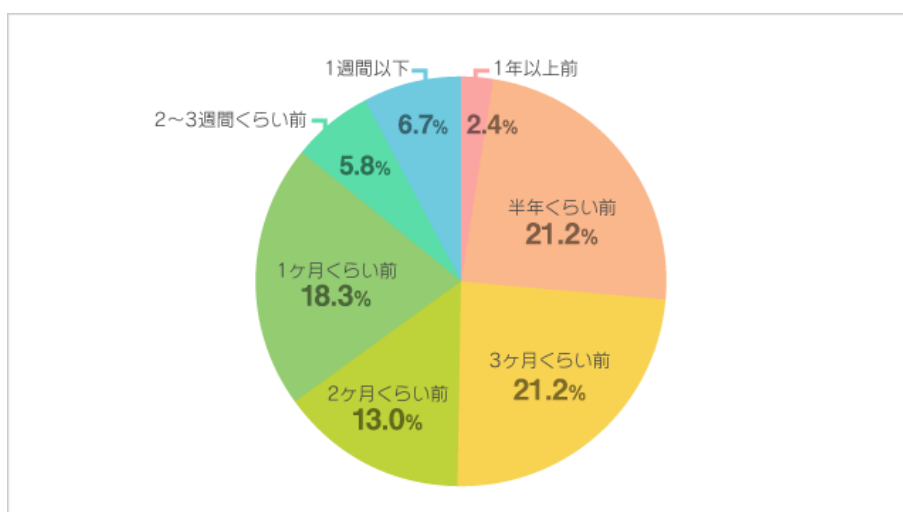
七五三イベントを実施した時期を聞くと、10～11月にピークを迎えることがわかりました。七五三当日である11月15日に行なう人は少数派という結果に。イベントのうち、写真撮影だけは5月ごろから増え始め、夏から秋にかけてまんべんなく行なわれています。早期予約や時期をずらせば、特典や割引が付く場合があることの影響かもしれません。フリーアンサーでは「着物を早い時期に選んでいたため、第一希望のデザインを借りられて良かった」「前撮りしたので当日は子供がつかれずに七五三にのぞめた」という回答も。

なお、準備を開始した時期（図3）については、半数近くが3ヶ月以上前と回答。また、遅くとも1ヶ月前には準備を始める方が多いようです。

【図2. それぞれのイベントを実施した時期】



【図3. 七五三の準備を開始した時期】

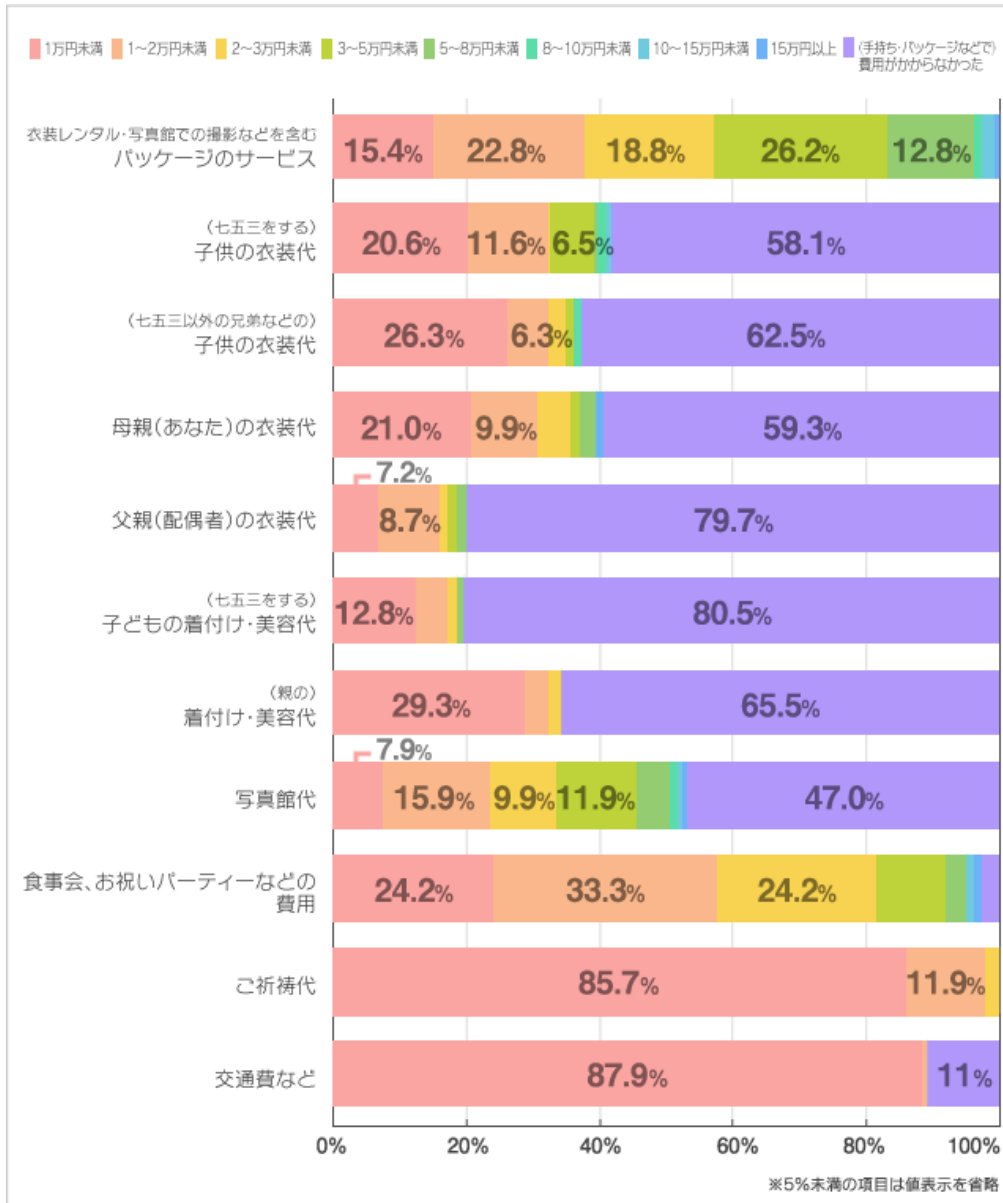


2. 七五三のお財布事情

衣装レンタル・写真撮影のセットサービスは、3～5万円がボリュームゾーン

七五三で利用したサービスや衣装、支度などにかかった費用を聞きました。利用率の高い「衣装レンタルと写真撮影のパッケージサービス」については、3～5万円までの割合が26.2%と最も多く、その次に1～2万円が22.8%という結果に。一方、衣装や支度の費用は「手持ち・パッケージなどでかからなかった」と答えた人が大半を占めました。

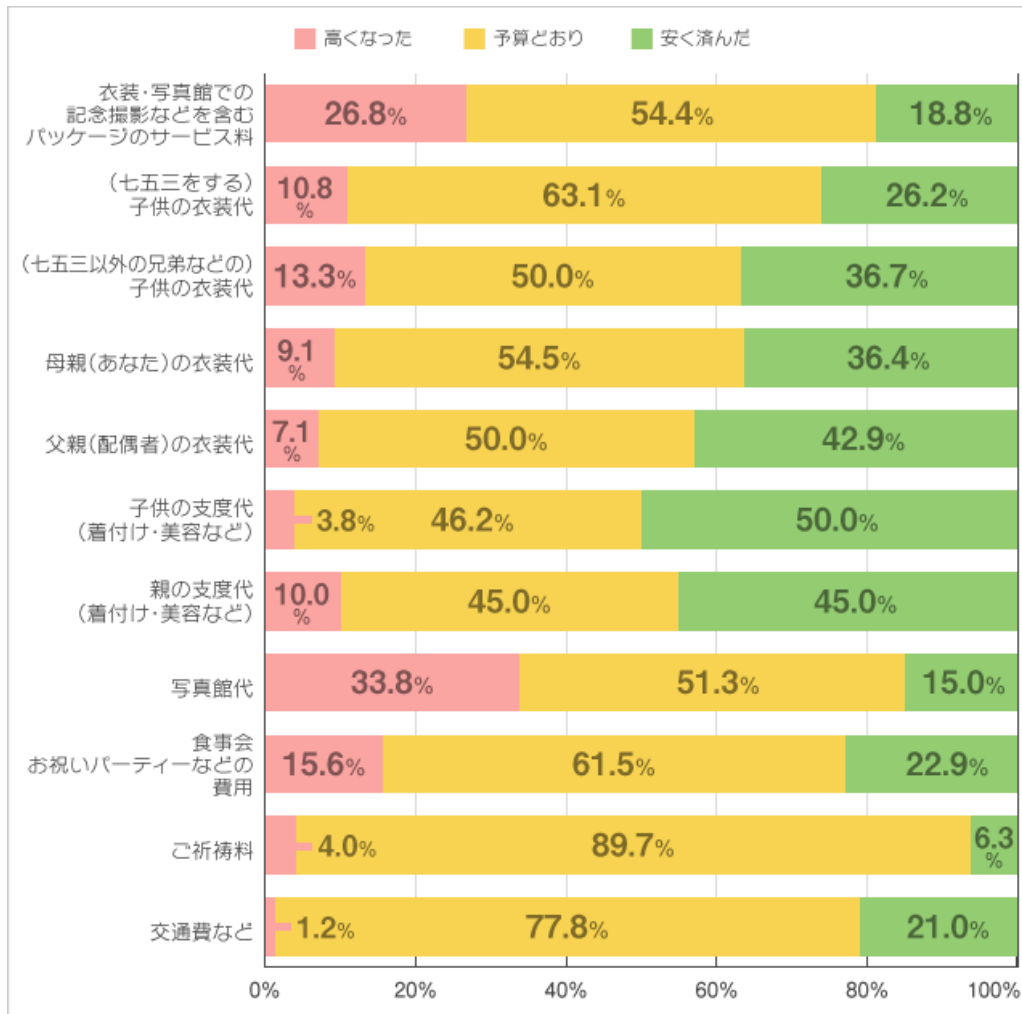
【図 4. 利用したサービスや衣装別の費用】



衣装レンタル・写真撮影のセットサービスで「予算オーバー」と感じた人が27%

実際にかかった費用と予算のギャップについて、パッケージサービスと写真館代は、予算をオーバーしたと感じた人が他の項目よりも多い結果となりました。回答者からは「写真を選びきれず購入枚数が多くなった」「子供は予算を気にせず衣装を好きに選ぶので、衣装にお金がかかった」という声も。早期予約や時期を外すことで予算を抑えることもできるので、事前のリサーチが重要になってきそうです。

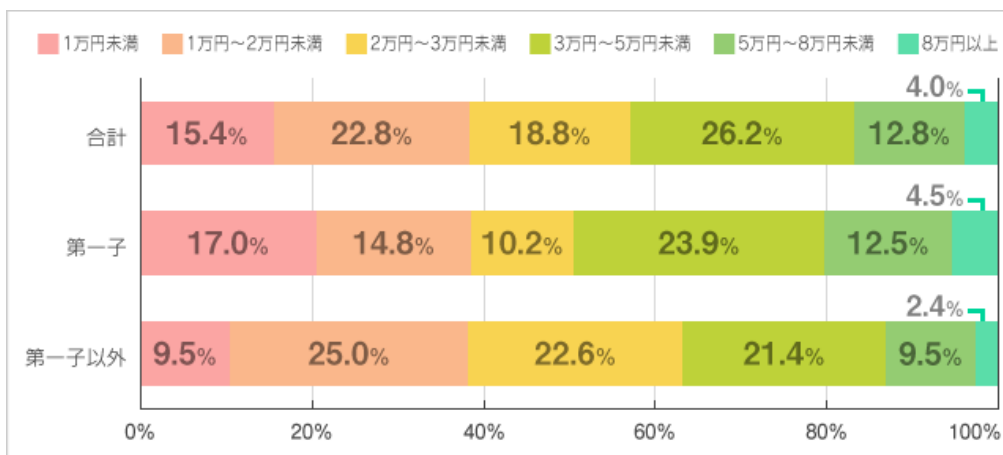
【図 5. 実際にかけた費用と予算にギャップはあったか】



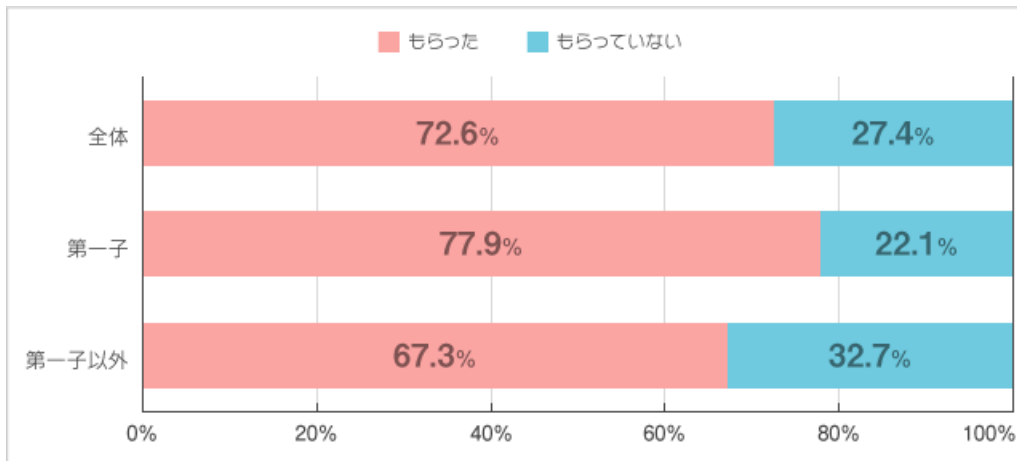
第二子以降では費用を抑える傾向。祖父母からのお祝い減が影響か？

パッケージサービスに関する費用を「第一子か、第二子以降か」で分けて見てみると、第二子以降は「1~3万円」で抑える人が多いことがわかります。「一人目の経験を踏まえて、二人目以降は予算を抑える」といった理由があるのか、興味深い結果となりました。「祖父母からのお祝い」(図6)に関する結果を見てみると、第一子か否かでお祝の有無に差が出ていることから、こういった事情が費用に影響を及ぼしていると考えられます。

【図 6. パッケージサービスにかかった金額 第一子・第二子以降】



【図7. 子供の祖父母から、お祝いをもらったかどうか】

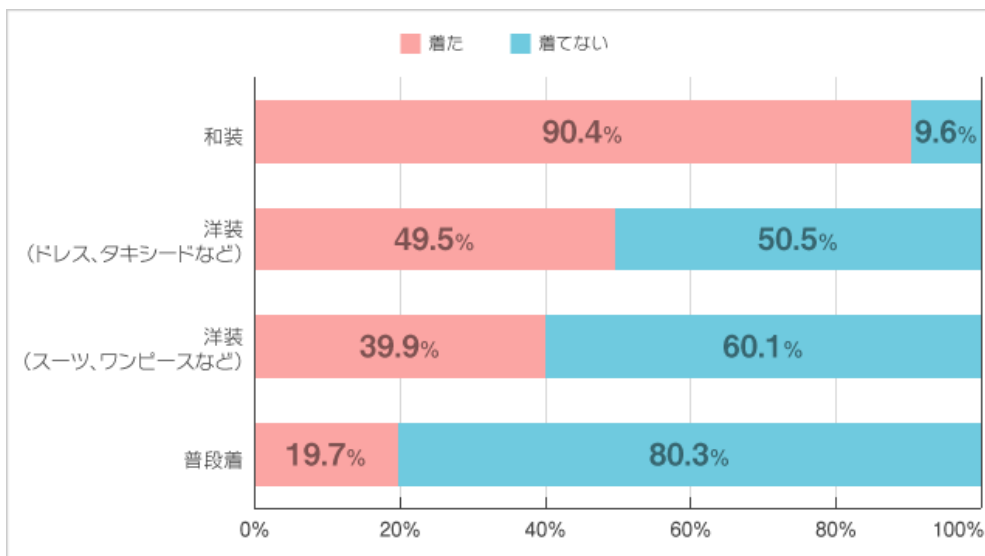


3. 子供の衣装について

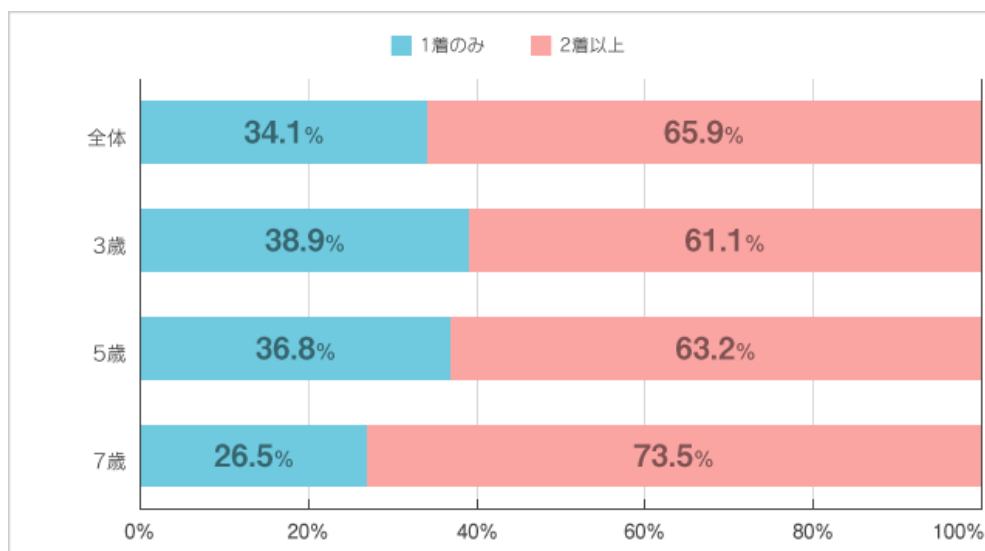
子供の衣装は「和装」が9割。65%が2着以上を着用

日本の伝統行事だけあって、和服(着物)を着せた人は9割にのぼりました。また、衣装を着せた人のうち65.9%が、2着以上を着用しています。7歳になると、2着目以上の割合はさらに上昇し73.5%に。

【図8. 子供に着せた衣装(複数回答)】



【図9. 何着の衣装を着せたか(年齢別)】

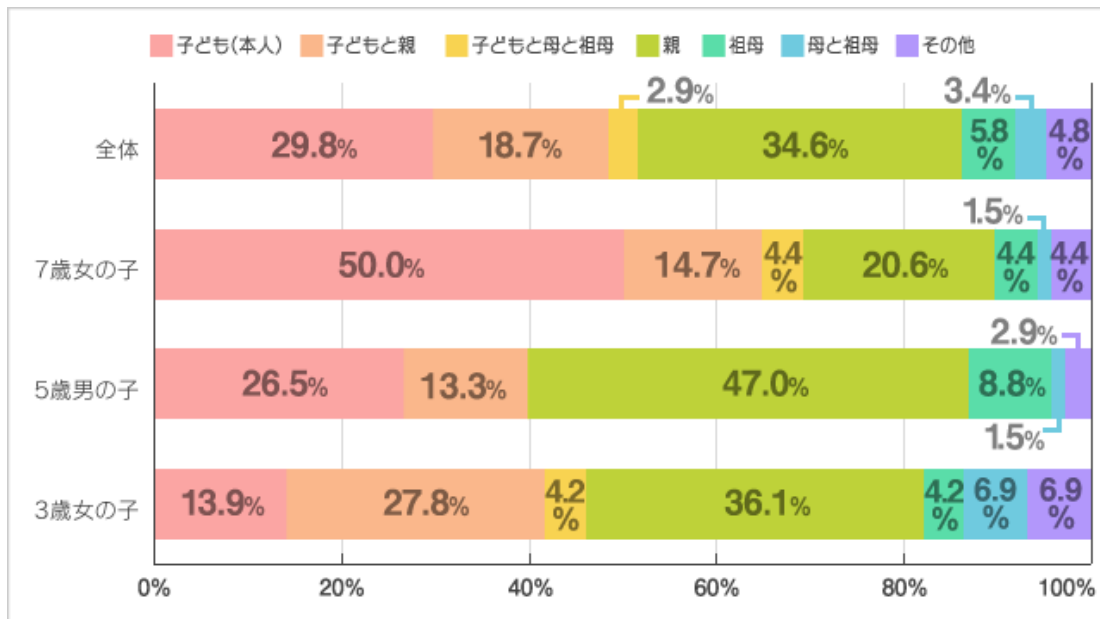


「衣装は子供が選んだ」がおよそ3割！2着目では、42%まで割合上昇

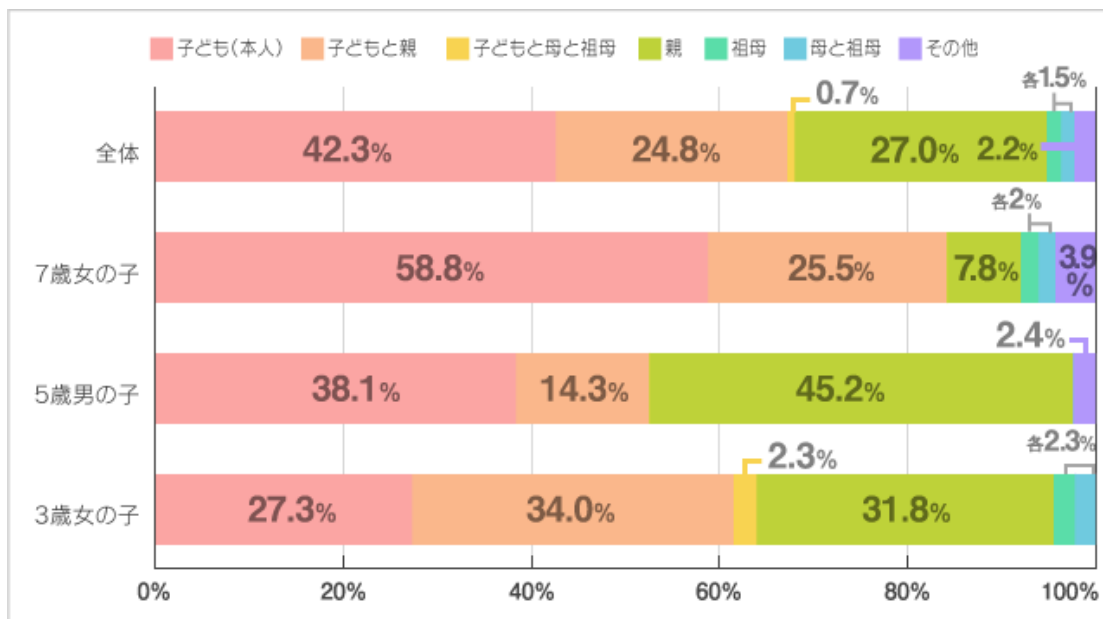
衣装を誰が選んだかについて聞いたところ、「子供だけで選んだ」が29.8%。大人と一緒に選んだという回答も合わせると5割以上にのぼり、子供の意見が反映されるケースが多いことがわかります。特に7歳の女の子ではその割合が上昇し、「子供だけで選んだ」が半数という結果に。

また、2着目では、子供の意見を反映する割合がさらに上昇。フリーアンサーでは「子供の趣味を反映した七五三だったので、子供も楽しくできたのだと思う」「小さくても好みがあるので本人に衣装を選んでもらってよかった」という意見も見られました。

【図 10. 1着目の衣装を誰が選んだか】



【図 11. 2着目の衣装を誰が選んだか】

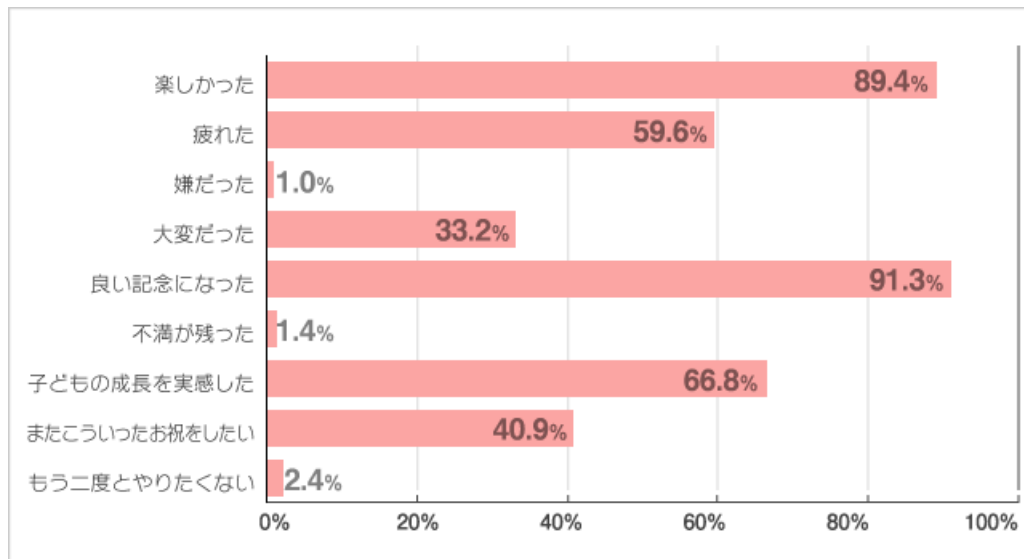


4. 七五三、やってみてどうだった？

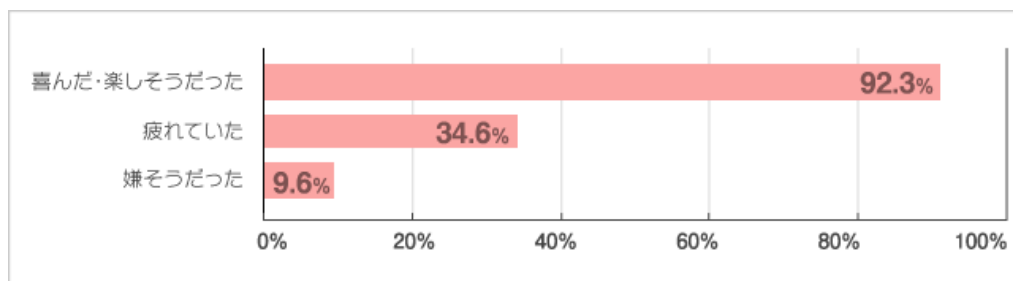
「良い記念になった」が91.3%でトップ、満足度は高い傾向に

お金も労力もかかる七五三のお祝い。お母さんの感想では「良い記念になった」「楽しかった」「子の成長を実感した」というポジティブな声がほとんどでした。主役となる子供の様子は、「喜んだ・楽しそうだった」が92.3%にのぼる一方、「疲れていた」が34.6%という結果に。七五三をより良い日にするためのコツをフリーアンサーで聞いたところ、「子供が気に入った衣装を着せる」「和装が嫌そうなら2着目を洋服にする」など、子供が機嫌良く楽しめるような工夫をしている人が多いことが見て取れました。

【図 12. 七五三に関するお母さんの感想（複数回答）】



【図 13. 当日の子供の様子（複数回答）】



5. これから七五三をする人へのアドバイス

フリーアンサーで寄せられた体験談から、七五三を楽しいイベントにするためのポイントをご紹介します。

- 計画的に、早めに準備や予約を済ませたほうがよい。
- 衣装は家族・親族が持っている場合もあるので、事前に確認を。
- 前撮りや後撮りを使うなど、お得に済ませる方法をリサーチしておく。
- 子供が気に入った衣装を着ることで、機嫌よく過ごせるメリットもある。
- 撮影日とお参りで、別の衣装を着るのもよい。
- 前撮りのときに着物を嫌がるようだったら、当日はちょっとおめかしした洋服にするという手も。
子供が楽しく過ごせることを重視したい。
- プロが撮影した写真はどれも可愛い。選ぶのが大変なのは覚悟のうえで。
- 撮影枚数や予算をきっちり決めておくのもよいが、多少予算オーバーしても、良い思い出になって満足。

【調査概要】

調査対象：過去1年以内に自身の子供の七五三のお祝い（神社への参拝または写真館での記念撮影いずれか）をしたことがある母親

調査期間：2014年10月24日（金）～2014年10月26日（日）

回答者数：208名

【価格.com サイトデータ】（2014年9月末現在）

月間利用者数4,672万人、月間ページビュー8億7,016万PV、累計クチコミ件数約1,900万件

<利用者内訳> PC：2,774万人 スマートフォン：1,852万人 フィーチャーフォン：46万人

【報道に関するお問い合わせ先】

株式会社カカクコム 広報室 e-mail: pr@kakaku.com

データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例

- ・購買支援サイト「価格.com」調べ
- ・購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…